

## 壺ノ型 基本的な内容を固める。

基本的な内容が分からないと、発展的な内容など分かるはずがありません。まずは基本的な内容を固めよう。  
そのために・・・ A、B の2つの方法を紹介します。

## A 「一問一答」の活用 1回20問から40問くらい(無理はしない)

1. 理科ノートの一問一答を覚える。問題を読み、キーワードを確認しながら、語句を覚える。
2. 一問一答を解く。(時間制限を設ける。)

このとき、分からない所は空欄にして、そのままできる所を進める。

3. 答え合わせをして、できなかった所を確認する。

間違ったところをよく見直しましょう。用語が覚えられなかったら、その用語の漢字(ひらがな)練習を  
しましょう。      たとえば・・・ 光合成 光合成 光合成 光合成 光合成 光合成・・・

**ここがポイント!!!** 間違えた問題の番号の横に☆や正の数でチェックをつける。

4. チェックがついた(間違えた)問題をよく見て、答えを覚える。
5. 間違えた問題だけ、もう一度解く。 → 3 → 4 → 5 すべてのチェック付き問題が解けるまで繰り返す。
6. 数日後、同じ「一問一答」を解く。(全部) ⇒ 3に戻り、繰り返す。

チェックが付くほど、自分にとっての難易度が高い問題!

3つ以上のチェックが付いたら、試験前に**要確認!!!**

<input type="checkbox"/>	20	子葉が1枚ある被子植物の
☆	<input type="checkbox"/>	21 子葉が2枚ある被子植物の
☆☆	<input type="checkbox"/>	22 花弁が離れている双子葉類
	<input type="checkbox"/>	23 花弁がくっついている双子
☆☆☆	<input type="checkbox"/>	24 種子をつくらない植物のこ うか

## B 問題集の活用

1. 授業でまとめたノートやワークシートをよく見直す。
2. ワークや問題集、を使って、問題を解く。

このとき、ノートには問題を書かなくてOK。問題を書くのは効率が悪いです。答えだけを書きましょう。

たとえば・・・ 1(1)光合成 (2)酸素 (3)二酸化炭素

3. 問題を解いて、間違っところを確認する。

間違っところをよく見直しましょう。

用語が覚えられない人は、その用語の漢字

(ひらがな)練習をしましょう。

たとえば・・・ 分離の法則 分離の法則 分離の法則 分離の法則・・・

答え合わせをしても分からない問題は、先生達や友達にどんどん質問しましょう。

4. 少し時間をおき、間違っ問題をもう一度解く。

5. 3へ(できるまで何度も繰り返す。)

6. 数日後、同じ問題を解く。(全部)

※「同じ問題」というのがポイントです!人の話も1度聞いただけでは覚えませんが、同じ話を何度も聞くと

覚えちゃいますよね。穴が開くほど同じ問題を何度も解きましょう。

## 式ノ型 発展的な問題(応用問題)にチャレンジ

ここでいう発展的な問題とは、問題文が長文で、図やグラフがたくさんあったり、複雑な計算がともなったりする問題です。

1. 自力で解いてみる。

問題文を読みながら、わかった情報を図やグラフ、空いているスペースにメモをするようにしましょう。

2. 解答を見て、解説を熟読して理解する。

よい問題集は、わかりやすい解説が書いてあります。問題集選びは、ここがポイントです。

それでも分からない場合は、先生や友達に質問しましょう。

○定期テストや実力テストは1回やって終わりにせず、時間をおいて何度もチャレンジしましょう。

**理科は、同じ問題を穴があくほど**

**何度も何度も何度も**

**解くことがポイントです!**